

資料提供(投げ込み) 令和元年6月12日(水)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所属	職・氏名
健康福祉部 子育て推進課 (電話059-229-3167)	子育て推進課長 水野 浩哉

## 津市こべき保育園園児・北口保育園園児と三重県立久居高等学校生徒との交流事業「わくわくコミュニケーション」の開催について

津市こべき保育園園児・北口保育園園児と三重県立久居高等学校生徒との異年齢交流事業「わくわくコミュニケーション」を下記のとおり開催します。

近年の情報ツールの多様化及び普及による情報化の急速な進展などにより、子どもたちのコミュニケーション能力が低下していると言われていています。このような中、本事業を通じ、保育園児と高校生が継続的に1対1で直接触れ合うことにより、人と話す・自分の気持ちを伝えるなどの豊かな体験やコミュニケーション能力の育成を図ります。

### 記

#### 1 実施場所・期間等

- (1) 津市こべき保育園(久居元町2314-17 電話256-3331)  
令和元年6月18日(火)から令和2年1月21日(火)までの間で  
15回程度(毎回火曜日に開催) 9時~10時
- (2) 津市北口保育園(久居北口町554 電話255-4566)  
令和元年6月21日(金)から令和2年1月24日(金)までの間で  
15回程度(毎回金曜日に開催) 9時~10時

※日程は、園又は学校での行事等により変更する場合があります。

#### 2 対象者

- (1) 津市こべき保育園3歳児及び三重県立久居高等学校3年生生徒(26人)
- (2) 津市北口保育園4歳児及び三重県立久居高等学校3年生生徒(28人)

#### 3 事業実施の経緯

近年の青少年のコミュニケーション能力の低下が指摘されている中、コミュニケーション能力の育成のため、昨年に引き続き、三重県立久居高等学校から年間を通じた保育園児との交流事業を実施したいとの申し入れがありました。

保育所においても、園児と高校生との1対1の異年齢交流を通じ、様々な体験や人と話す、自分の気持ちを伝えるなどのコミュニケーション能力を育成することができるとともに、地域の関係機関が連携して、子育て支援や次代の親の育成を図ることができるなどが期待されることから、同校からの交流事業の申し入れを受け入れることとしました。

なお、同高校では平成27年度から「コミュニケーション」の授業として新しく科目を設け、実施しています。